

『MOTTAINAI (もったいない)』部会 活動報告

私たちは、電気や水道の点けっ放し、出しっ放し、いつも食べる給食や飲食店での食べ残し、見た目が古いだけで、まだ使える物を捨ててしまうことを MOTTAINAI (もったいない) と感じました。また、空き家、空き店舗がそのままになっていて、景観が悪くなるだけではなく、有効活用されていないことにもったいないと感じます。これらのもったいないをどうすれば無くせるかについて考えました。

◇身の回りのもったいないを無くすための心掛け、方法

- ①基本となる3R (リデュース、リユース、リサイクル) を心掛ける
- ②電機は使わない時は消す。センサー式にする
- ③太陽光や雨水の利用
- ④空き家リメイク案
- ⑤賞味期限が残っているのに廃棄されてしまう食品を世界の貧困家庭に提供する。

このような意見が出た中から、食べ残しと空き家リメイク案に着目しました。

◇残飯について、家庭や近所の方、飲食店にインタビュー

給食室や家庭、飲食店で食べ残しがどのくらい出ているのか、もったいないを無くすための工夫があるのかなどインタビューを実施しました。

平成 29 年度 第 3 回立川市子ども委員会

③お店など聞いてみよう。

平成 29 年度 第 3 回立川市子ども委員会

②残飯について調査をしよう。自宅や知り合いの人に聞いてみよう。

○聞いた方 70代女性

○食事の食べ残しはありますか? ある / 時々ある / ない

○毎回の食事で食べ残しがありますか? ある / ない

○食べ残しが多いものはなんですか
肉

○野菜の皮などを利用して食事をつくることをされていますか?
 していない / している ⇒ どういった利用をしていますか

○聞いた方 80代男性

○食事の食べ残しはありますか? ある / 時々ある / ない

○毎回の食事で食べ残しがありますか? ある / ない

○食べ残しが多いものはなんですか
肉、魚

○野菜の皮などを利用して食事をつくることをされていますか?
 していない / している ⇒ どういった利用をしていますか

○聞いた方 (お店の名前) セブイレブン

OMOTTAINAI・エコ活動に取り組んでいることはありますか。

自転車通勤している。

○聞いた方 (お店の名前) ラポート立川位飛店のスーパー

OMOTTAINAI・エコ活動に取り組んでいることはありますか。

オリジナルエコバッグを売っている。

○聞いた方 (お店の名前) 文房具屋さん

OMOTTAINAI・エコ活動に取り組んでいることはありますか。

エコ商品を販売している。

④チャレンジ問題

○雨水の再利用方法はどんなものがありますか。

ゆすねのために、花だんにまく。

自分ができそうなものはやってみよう!! やってみたい感想を書いてください。

空き箱をもう一度使おう? 工夫をした。

- ①食べ残しが多いものは … 嫌いな物、固いもの、野菜や肉など
- ②野菜の皮などを利用しているか … 利用している人も利用していない人もいた
- ③お店でのエコ活動は … エコバックを売る、食べきり協力、持ち帰りをお願いするなど

◇「ごみについて」講座

広報 8/10 号掲載「特集ごみの行方をしよう！」の記事を読み、ごみ削減の取り組みや工夫について詳しく知りたいと思い立川市ごみ対策課の方に詳しくお話をいただきました。

- ・生ごみについて、無料でたい肥とたい肥ケースを配布している
- ・ごみ有料化に至った経緯と市民への説明会の実施
- ・ごみの分別をすることで、資源がリサイクルされるだけでなく、埋め立てゴミが無くなる
- ・レアメタルの回収と東京オリンピックに向けた取り組み
- ・一人ひとりの意識を高めるために、子どもから大人へもったいないの声掛け、啓発活動が大切



講座の様子

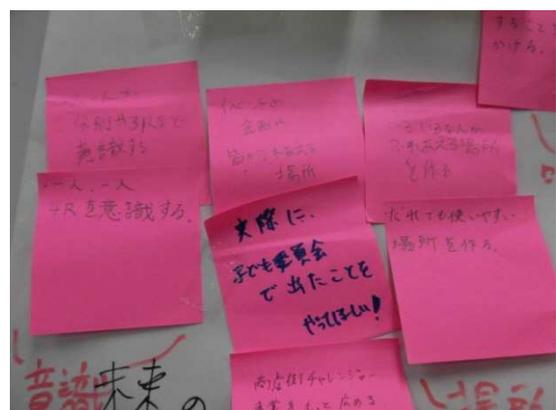


たい肥を使った生ごみ処理の説明

◇空き家、空き店舗の有効活用について

都市計画課、産業観光課、住宅課からいただいた資料を基に空き家、空き店舗について考える。人口の減少と共に、空き家が多くなることが予想されている。これまでのゼロから「つくる」時代から、手を入れて「つかう」時代へ変革をしていく。また、今あるものを上手に使い、これからのまちづくりを考えていくことを学びました。

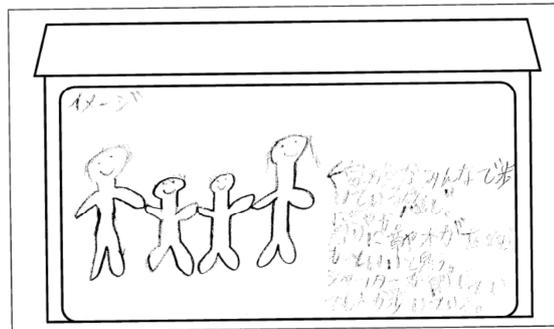
「今あるものを上手に使う」考え方から、シャッターが閉まったままになっている店舗の有効活用として、シャッターアートの意見とその意識が高まりました。シャッターアートは、誰もが気軽に訪れ、見ることができるため、情報やメッセージの発信に使用できると考えました。



②シャッターにメッセージやイラストを描いてみよう。あなたなら、どんなレイアウトにしますか？



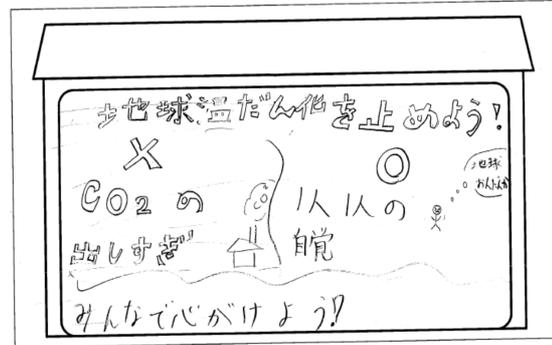
②シャッターにメッセージやイラストを描いてみよう。あなたなら、どんなレイアウトにしますか？



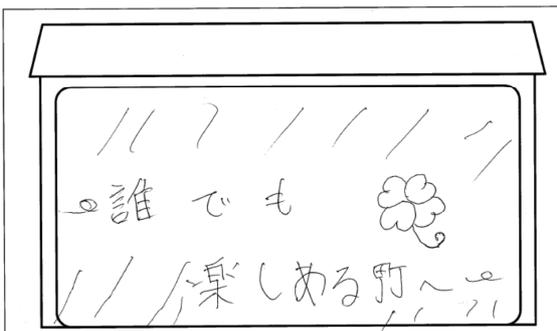
②シャッターにメッセージやイラストを描いてみよう。あなたなら、どんなレイアウトにしますか？



平成 29 年度 第 5 回立川市子ども委員会



②シャッターにメッセージやイラストを描いてみよう。あなたなら、どんなレイアウトにしますか？



平成 29 年度 第 5 回立川市子ども委員会



子ども委員が考えるシャッターアート

◇シャッターを開けて有効活用する方法も考える。

- ①空き店舗に情報発信の場をつくる。案内の人を募り、立川市の観光案内をしてもらう。
- ②多文化・多世代交流、伝統遊びに触れるきっかけづくりも行う。
- ③コミュニティカフェ。店内は、バリアフリー、紫外線防止の工夫など
- ④『高齢者との関わり』部会の交流イベントの場所

シャッターの有効活用だけではなく、シャッターを開け、店舗の有効活用も考えました。店舗だけではなく、空き家もこのような形であれば有効活用ができるのではないかと考えます。

◇年間のまとめ

私たちは、身の回りにあるもったいないの中から、学びながら活動を続けてきました。今後、空き家、空き店舗が増えていく中で、今あるものを上手に使う方法が必要になります。シャッターを下ろしている時には、シャッターアートを活用して店舗の案内や宣伝をすることで無駄な電気を使わずに済みます。反対に、シャッターを開けた時には、交流が図れる場所として、空き家、空き店

舗の有効活用ができると思います。

以上のことから、『MOTTAINAI（もったいない）』部会では、次のことを立川市に提案します。

立川市への提案

- 1.市内各地の空き家、空き店舗、シャッターを活用し、街の活性化と明るいまちづくりへの取り組み
- 2.多文化、多世代交流、情報発信の場となる「くるりんステーション（仮称）」を各地に作る。

以上